5 グループデータ連携基盤

最先端の仮想化技術により、グループ横断のデータ利活用・ソリューション開発を支援

MS&AD インシュアランスグループホールディングスは、グループ各社が持つデータをシームレスに共有する「グループデータ連携基盤」を開発した。NTT データは、最先端の仮想化技術により迅速・低コストでの基盤開発を実現すると共に、今後のデータ利活用に向け、お客様と共に歩んでいる。

これからの事業展開に不可欠なデータの共有・利活用

MS&AD グループは、デジタル技術を活用しながら社会課題を解決し、顧客体験価値の向上を図る「CSV × DX 戦略」を掲げ、新たなソリューションの創造と事業機会の創出に取り組んでいる。この戦略のさらなる推進を目指して、グループ事業会社各社が保有するデータを共有し活用すべく、グループデータ連携基盤が開発されることとなった。

グループにおいては、持株会社傘下に損害保険、生命保険、リスクマネジメントなどを手掛ける事業会社が連なるが、法規制により各社間のデータ授受手続きが煩雑であったり、どこにどのような情報があるかが明確化されていなかったりするという課題があった。一方、開発にあたっては、各社それぞれがこれまでも行ってきたデータ活用に係る投資や蓄積を無駄にすることは避ける必要があった。

このようなお客様の状況や目的に合うソリューションとして、我々は最先端のデータ仮想化技術を用いた連携を提案した。

株式会社 NTT データ
第三金融事業本部
保険 IT ビジネス事業部　第二統括部
（左）損保第一開発担当　課長　**袴田 英希**氏
（右）営業担当　課長　**玉田 聖也**氏
（中）営業担当　課長代理　**藤川 剛**氏

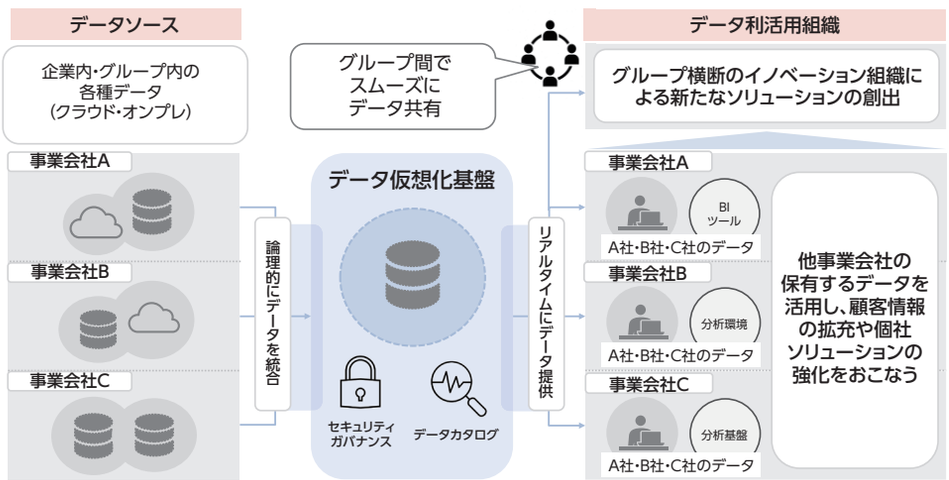

図1　グループデータ連携基盤システム全体像

これからの事業展開に不可欠なデータの共有・利活用

一般的に、グループ会社等においてデータ統合を行う場合はデータウェアハウスを用いて物理的に統合するケースが多い。近年は仮想化技術を用いて、分散したデータの連携をはかるデータファブリックが注目されているが、日本ではまだ導入例が少ない。その中で、我々はいくつかの事例を手がけてきた実績があり、ノウハウや知見を蓄積してきていた。

グループ各社がそれぞれに保有するデータについて、法律に則り個人が識別できない

ように仮名加工情報化し、データ仮想化基盤「denodo」を用いて論理的にデータを統合することとした。

各社のデータ格納場所から物理的にデータを移管する必要がないため、リアルタイムでのデータ連携が可能となるとともに、データをグループ全体で管理することで、データガバナンスの強化にもつながる。

データ活用による ビジネス創出のためのシステム

NTT データとしても、近年はシステム構築に留まらない、お客様のデジタルによる事業変革サポート支援に取り組んでおり、今回の案件には、構想段階でのワークショップから積極的に参画させていただいた。

いくつかの事業会社とは、基幹システムや代理店システムの構築・運用で長年に渡っての関係性を築いてきており、そのロングターム・リレーションシップを活かすと共に、グループのシステム子会社の方々とも連携をしながら開発を行っていった。

留意すべきは、各社のデータをどのようにつなぐか、基盤にかかる負荷をどのように制御するかという部分のみ。物理的な統合においては UI からデータそのものの整合性、オンラインシステムの整合性など幅広く確認していかなければならないのと比較すると、実は技術的な難度はさほど高いものではなかった。

むしろ、基盤を構築した後に、どのように使っていただくのか、どのようなユースケースにつながるのかなどを想定し、そのために使いやすい仕組み、誰もが簡単に安全に利用できる仕組みとしていくことに重きを置いていた。

図２　データ利活用促進支援スキーム

データを活用した 新たな価値創造に 向けて

データ連携基盤は出来上がったが、ここが新たなスタートであると捉えている。グループ各社のひとりひとりがデータ利活用に取り組むようになるためには、認知度を高めるための発信、理解してもらうための習熟、利用を促進するための拡充という、総合的なアプローチが欠かせない。

そこで、まずはメインユーザーとなる事業会社のデータ活用に携わる方々に、システムの意義や内容を知っていただくためにコンセプトムービーを作成し、配信してきた。

さらに、実際にシステムを触っていただくことが必要と考え、ハンズオンセミナーを４−５月に開催し、多くの方々にご参加いただき、理解を深めていただいたところだ。

今後は、実際に使ってみたところからのアイデアを共有したり、ユースケースを考えたりするような機会を設けていく。

安全にスピーディーにデータを共有できる基盤によって、グループシナジーが発揮される新たなソリューションの創造や既存ソリューションの高度化の実現をサポートしていきたいと考えている。

MS&AD インシュアランス グループホールディングス株式会社
デジタルイノベーション部　課長　**北岡 弘次**氏

NTT データには、検討初期に実施したグループ各社のデータ分析者とのワークショップの企画・運営を依頼し、当社グループの課題感や風土等を理解したうえで、開発に着手いただきました。そのため、持株会社および事業会社６社というステークホルダーの多い開発にも関わらず、スムーズにプロジェクトを進めることができました。また、システム開発に留まらず、全社員向けコンセプトムービーの作成や、リリース後の利用者向けハンズオン研修の企画・実施等、本システムの利用促進と成果の創出までトータルにサポートいただいており、システム開発だけでなく、当社グループと共に作り、共に歩むという姿勢を実感しています。